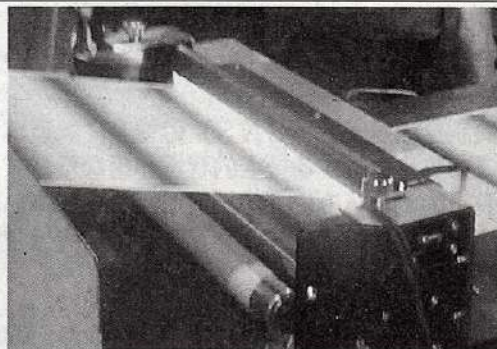


# 東通研、消費電力70%減

## 印刷向けUV乾燥機受注

東通研(東京都豊島区、齋藤太郎社長、00)は、消費電力を同社従来機比で約70%低減した紫外線(UV)硬化インキ乾燥装置「Blue WaveシステムII型」写真」の受注を始めた。硬化するUVランプに独自調合した不活性ガスを封入し、100度C以下の低温放熱で高い照射効率を実現。消費電力を大幅に削減できる。主にビジネスフォーム印刷など向けで、価格は約250万円(消費税抜き)。



同装置は硬化前の印刷用紙を冷却シリンドラで押し上げ、上部からUVランプを照射する仕組み。新型機のUVランプは放熱温度を80-98度Cに抑制して

も高いUV照射効率を維持する。このため印刷用紙とランプの間隙を従来機の3分の1ほどの約15ミリと近距離にできる。高効率で焦げにくく乾燥しやすいのが特徴だ。

一般的にUV乾燥装置の消費電力は6キロワットという。新型機は新開発のランプで同社従来機の約3キロワットに低減した。また点灯後すぐに安定調光できるため、電力や印刷用紙のロスも減らせる。